

 評価のポイント

CL- II .ケアする力（共通）

[23-2] セルフケア理論の展開事例 衝動の高まりで行動化する事例

1. 受け持っている患者さんについて、①精神状態・身体状態・発達状態（発達上の課題がどこにあるか）

②これまでの病気の経過

③これまでの日常生活

④現在のセルフケアの状態 から、セルフケアとセルフケアレベルをアセスメントしてみましょう

正解・不正解はありませんが、以下のような回答を想定しております。

受け持っている患者さんの①～④を捉え、セルフケアのどの部分に影響が出ているのかを「空気・水・食物」「排泄」「個人衛生」「活動と休息」「孤独と付き合い」「安全を保つ能力」に関する情報についてのアセスメントとセルフケアレベルが抽出されること。

出題の意図：精神科患者にセルフケア理論を用いると、患者が自分自身のケアに積極的に関与することで、自律性が高まるだけでなく、回復へのモチベーションを高めることにつながります。セルフケア CL－新人看護師、セルフケア CL－ 1 を経て、自分が受け持っている患者の看護過程の展開ができることを目的としました。

2. また看護の方向性について考えてみましょう

以上のアセスメントに応じた長期目標／短期目標を立て、具体的な看護計画の立案について説明することを期待しております。